

令和6年8月9日

樹木医 各位

一般社団法人日本樹木医会熊本県支部  
一般社団法人熊本県樹木医会  
支部長・会長 松本 雄介

## 令和6年9月度例会のご案内

猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。  
令和6年9月度例会を下記の通り開催いたします。お忙しい最中とは存じますが、ご出席  
をお願い致します。

記

日 時 : 令和6年9月21日(土) 15:00~

場 所 : 熊本市国際交流会館 5階 大広間B

出欠の確認 : 設営の都合上、9月16日(月)までに、浏上まで必ずご連絡下さい。※厳守

連 絡 先 : 浏上まで

FAX 0966-67-1573 携 帯 電 話: 090-9560-8211

PC アドレス sinkohen@violin.ocn.ne.jp

例会内容 : 1) 活動報告・連絡・情報提供  
2) 研修:『タケの管理について』 講師:丸山樹木医  
3) その他

令和6年9月度 例会に 出席します 欠席します

氏名 \_\_\_\_\_

一言の通信欄

.....  
.....

プログラム

2時間

科目名	いまさら聞けない樹木医講座
講師名	丸山 勝志 氏
所属・役職	日本樹木医会 熊本県支部

講義内容

タイトル

『竹の管理について vol.1』

事務局より

樹木点検をしていると、『被圧による衰弱』という場面によく出くわします。

その被圧している多くが『モウソウチク』なのに皆様お気づきでしょう。

樹木より高くそびえるモウソウチク。ほおっておくとどんどん広がるモウソウチク。

かといって皆伐すると日当たりがよくなって仕返ししてくるモウソウチク。

樹木医として、クライアントに樹木の環境改善について提案を行うとき

より低コストで且つ安全作業で効果的な方法を提案するにはどうすればいいか。

また、樹木医自身が竹山に入って管理するにはどうすればいいか。

モウソウチクをはじめ、タケは邪魔者と思われがちですが、

じつはとても美しい植物なのです。

長年このことに携わってこられた丸山樹木医による講義です。

正しい維持管理を学べるいい機会と考えます。